



ピープルズ・ホープ・ジャパン (PHJ) メールニュース読者の皆様

東日本大震災から 1 年がたち、PHJ では震災の被害と原発の事故について真剣に考え、東南アジアの保健医療教育支援とともに震災復興支援を継続する必要を認識しました。PHJ メールニュース 2012 年 3 月号を配信いたします。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ 運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、および PHJ を支援してくださっている方々にお送りしています。

PHJ メールニュース 2012 年 3 月号目次

1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. 東日本大震災-復興支援
- 1-2. タイ・カンボジア スタディツアー
- 1-3. タイ子宮頸がん・乳がん検診推進事業報告会
- 1-4. カンボジア・タイ洪水募金と 2012 チャリティーカレンダー募金の終了
- 1-5. スタッフブログ

2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. 子宮頸がん・乳がん検診推進事業
- 2-2. HIV/AIDS 予防教育

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 母子健康改善活動 ーバンタン州セララン県テイルタヤサ自治区
- 3-2. 栄養改善活動 ーテイルタヤサ自治区
- 3-3. 竜巻の被害（その後）
- 3-4. インドネシアでの活動許可延長

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. 健康な村づくり事業 ーコンポントム州
- 4-2. 助産師トレーニング事業 ープレイベン州

.....

1. PHJ 本部のニュース

1-1. 「東日本大震災」復興支援

PHJ では災害当初から全日本病院協会(全日病)と提携して、被災地域の民間医療施設の支援を行っております。復興支援の対象地域は気仙沼市、石巻市が中心です。地域の医師会のご協力を得て、被災した

医療施設の要望に応える支援をおこなっており、2011年12月、2012年1月、2月に続き3月にも医療機器、什器の寄贈を行いました。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan-saigai/

1-2. タイ・カンボジア スタディツアー

3月11日から18日まで参加者10名とPHJスタッフを含めタイとカンボジアのスタディツアーを実施しました。両国の農村にすむ人々の保健医療状況、都市との比較、医療現場の見学とインタビューなどを通してPHJの活動を知っていただく機会となりました。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

1-3. タイ子宮頸がん・乳がん検診推進事業報告会

PHJタイ事務所の所長によるタイ・子宮頸がん・乳がん推進事業の報告会を4月18日（水）JICA地球ひろば セミナールーム401号室で6:30pm-8:00pm開催いたします。出席をご希望の方は下記からお申込み下さい。

1-4. カンボジア・タイ洪水募金と2012チャリティーカレンダー募金の終了

カンボジア・タイ洪水募金：昨年8月以来カンボジア・タイでは大雨・洪水の被害に見舞われ、PHJでは被災者支援のため10月25日に募金を開始しました。多くの方に支援を頂き、2012年2月末に目標を達成し、募金を終了いたしました。ご協力ありがとうございます。

2012チャリティーカレンダー募金：昨年9月20日に募金を開始し、皆様の暖かいご支援と協力により2月末までに372万円が集まりました。カンボジア、インドネシア、タイ、武蔵野市の子供達によるおとぎ話の絵を集めたカレンダーは楽しくてかわいいと好評を頂きました。ご協力に感謝いたします。

1-5. スタッフブログ

タイ、カンボジア、インドネシアの様子をスタッフがお知らせしています

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

2. PHJタイ事務所のニュース

2-1. 子宮頸がん・乳がん検診推進事業

2月の子宮頸がん・乳がん検診キャンペーンはドイサケット郡で5回開催し584名が参加、サンサイ郡では11回、2,928名が参加しました。またミニバス検診にはこれまで一度も検診を受けたことがない女性も参加し、機会が得られたことを喜んでいました。

各病院が自主的に5回の検診キャンペーンを実施し、83名が参加しました。

2月10日サンサイ郡でマスター・ヘルスボランティアの教育を実施し30名が参加しました。

3月19、20日にはがん予防ワークショップを開催しました。

2-2. HIV/AIDS 予防教育事業

2012年度はチェンマイ保健局もPHJと協同で小規模ピア教育を支援しています。

ラジャマンガラ工科大学では2月2日、健康の日と翌日に、ピア教育イベントとして約150名の学生に、避妊具の使い方、HIV/AIDSに関する情報、感染についてチラシ、小冊子、ポスター、避妊具の配布を行いました。

2月9日チェンマイ商業技術大学では100名の学生を対象にHIV/AIDS 予防教育を実施しました。パヤップ大学でも2月13日、バレンタインデーのイベントとして、避妊具の使い方、HIV/AIDS の情報、友人へのメッセージ作成を100名の学生を対象に実施しました。

メージョー大学では2月15日ピア教育イベントとして、チラシ、小冊子、ポスター、避妊具を300名の学生に配布しました。

3月2日にはマツスエッサ中学校で出張ピア教育を行いました。

.....

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

3-1. 保健・母子健康改善活動 –テイルタヤサ自治区

2月の保健教育のテーマは家族計画（避妊）でイスラム教の信者が多い当地では、とてもセンシティブなテーマでしたが、家族計画の方法と出産後の避妊処置について、理由と目的を具体的に説明しました。また避妊処置による体への影響についても注意事項を説明しました。妊婦144人を含む344人が参加しました。

3-2. 栄養改善活動 –テイルタヤサ自治区

12月に実施したメニューコンテストのメニューを基に3村で栄養教育・調理実習を行い子供を含め202人が参加しました。

菜園事業報告は2月には3村から提出されました。雨不足、大雨にもかかわらず、野菜は順調に生育して、各村平均20Kg 収穫しています。スタッフブログで菜園事業の報告をご覧ください。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/archives/52073260.html

3-3. 竜巻の被害（その後）

1月に起きたツクラック村での竜巻の被災者に2回目の支援として衛生用品30組を配布しました。状況は落ち着いており、被災家族は各自家屋の修復などを始めています。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/archives/52069881.html

3-4. インドネシアでの活動許可延長

PHJ はインドネシア保健省から2012年4月までの活動許可を得ていますが、さらなる活動継続のために昨年10月に延長申請を行い、本年2月に延長許可の内諾を得ました。

.....

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

4-1. 健康な村づくり事業 –コンポントム州

保健センター運営改善：4つの保健センターでスタッフ会議が開催されました。2月よりユーザーフレンドリーチェックリストを用いて保健センタースタッフと利用者の意見を見ています。両者の認識の違

いを保健センターにフィードバックして改善を目指しています。

村人が衛生的な生活を実践：1月にトイレ建設資材の支援を行った4村60世帯を2月22、23日に検査したところ78.5%で建設は終了していた。遅れの理由は建設業者の作業待ち、自己資材分の購入遅れだと判明しました。3月にも建設促進を実施します。

衛生モデル村への第3回衛生促進キャンペーンのテーマは「ゴミ拾い」。2月13-16日4村でゴミ拾いキャンペーンを行い461名が参加しました。目的は村をきれいにすること、安全な環境を守ることと説明すると、村人は喜んで参加してくれました。

保健教育活動：村での保健教育は11回実施。予防接種がトピックで480名が参加しました。前後での確認テストでは34点から84点に向上しました。

村と行政サポートのネットワーク支援：保健センター運営委員、保健ボランティア会議は各保健センターで1回開催され、53%が参加しました。伝統的産婆（TBA）の会議は計4回、6割が参加し、TBAから保健センターへの出産サービス紹介、保健センターから病院への搬送が報告され、システムが機能していることを確認できました。

搬送サービス：2月には搬送サービス会議を開催し利用料金の再設定と組織図・役割の確認をしました。3月にはカートの寄贈セレモニー開催、搬送サービスの開始を調整しています。

4-2. 助産師トレーニング事業 –ブレイベン州

2月は特に活動はありませんが、3月と6月に病院実習を予定しています。

■ イーココロ クリック募金にご協力ください！

イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

PHJ メールニュース 2012年3月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。次号の参考にさせていただきます。メールニュースのバックナンバーはPHJホームページでご覧になれます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメールニュース配信不要とご連絡ください。

#####

発行者：

アジアの母と子を支える

ピープルズ・ホープ・ジャパン

国際保健医療支援団体 認定NPO法人第1号

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail : info@ph-japan.org

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2012 ピープルズ・ホープ・ジャパン

#####